

バードリサーチ 水鳥通信

2014年 8月号



季節前線シギ・チドリ 2014

守屋年史

Photo by 藤井薫

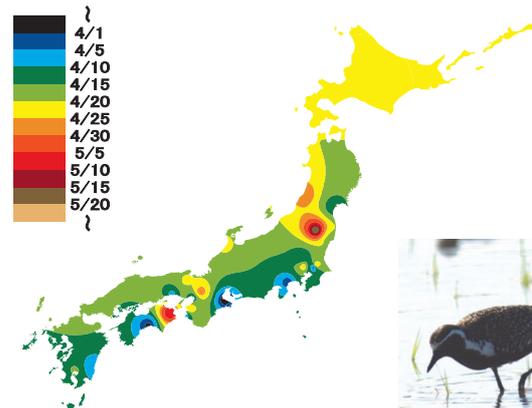
今年も春期に、季節前線シギチドリ調査を行いました。今春は53名の方から、データを寄せて頂きました。ご協力ありがとうございました。対象種の7種について初認情報を分析し、2014年春期の渡来状況が例年に比べてどのような状況であったかを報告します。各図は寒色系が早い時期、暖色系が遅い時期になっています。

ムナグロ

例年、本州で越冬する個体もいますが、4月上旬に初認され、関東以南の太平洋岸で渡来が早い傾向が見られます。今年の春の渡りは、関東、中部、四国の太平洋岸で昨年同様3月末には観察されましたが、北海道南西部では昨年より10日ほど早く到達しました。内陸部ではやや遅れて観察されています。

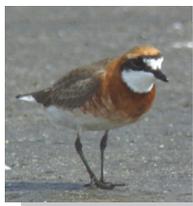
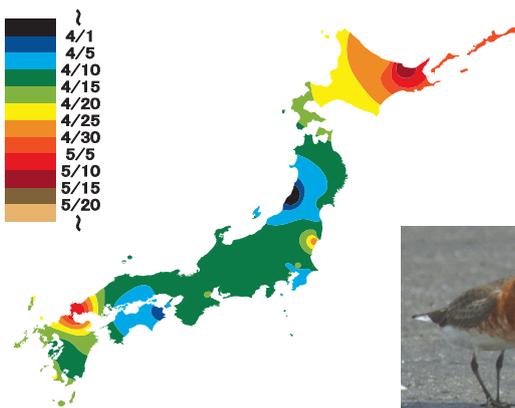
メダイチドリ

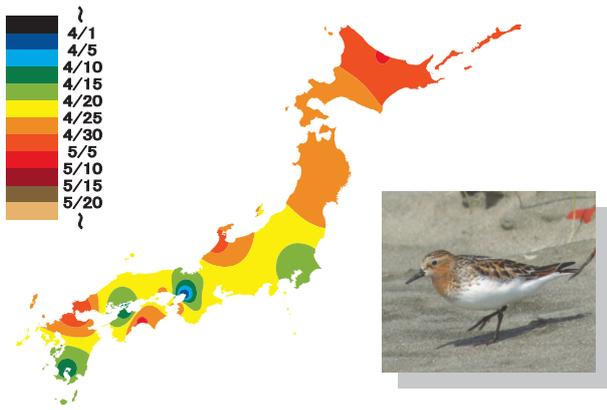
例年、本州では4月上旬には観察され始めます。また関東沿岸で、西の地域よりも早めに確認される傾向があります。今年の春の渡りは、昨年と同様に3月下旬には、東北日本海側、関東、四国で確認され、北海道南西部には、昨年よりも10日ほど早く到達していました。



トウネン

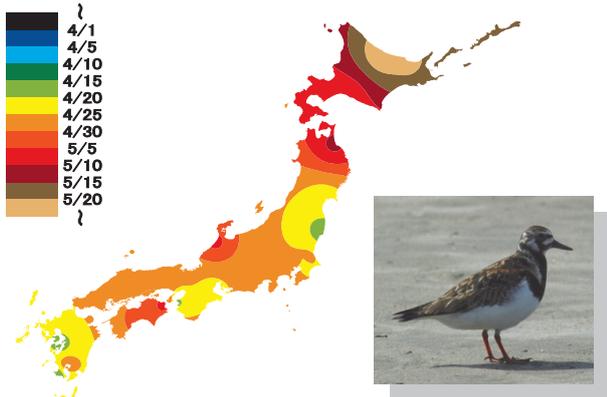
例年、本州では4月中旬から観察され始め、北海道北東部には5月上旬に到着します。九州南部、関西での初認は周辺地域よりやや早い傾向があります。今年の春の渡りは、関東までは昨年より8日遅く、北海道南西部には逆に7日早く到達していますが、北海道北東部では同時期に到達していました。





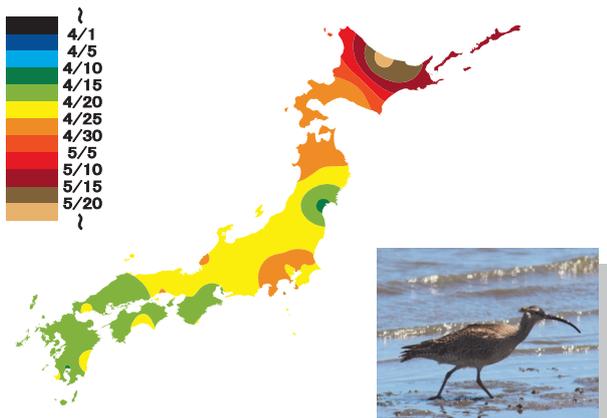
キョウジョシギ

例年、本州では4月中旬から観察され始めます。太平洋岸では、東北南部など周辺地域より渡来が早い地域があり、昨年度は4月下旬には北海道東部に到達していました。今年の春の渡りは、昨年同様に4月中旬に東北南部、関西、九州で初認され、北海道南西部までほぼ同時期に到達しましたが、北海道北東部への到達は昨年より1ヶ月遅れました。



チュウシャクシギ

例年、本州では4月中旬に観察され始め、4月末には北海道でも観察されます。短期間のうちに北上します。今年の春の渡りは、昨年より2日早く、4月上旬には東北、中部以南で観察され始めました。北海道南西部にも4月下旬には到達しましたが、北海道北東



部では、5月中旬に観察されています。

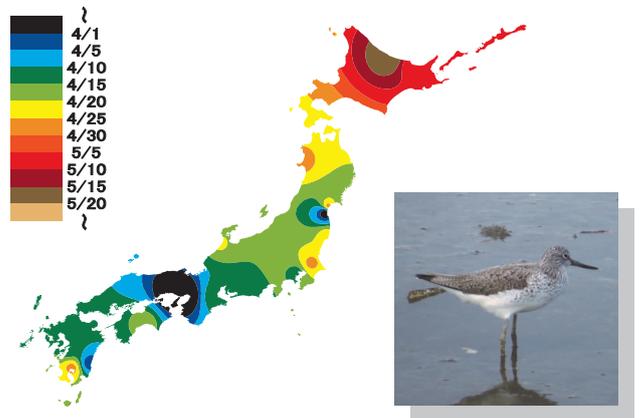
キアシシギ

例年、本州には4月の中下旬に観察され始め、5月上旬には北海道で観察されます。対象種の中では最も遅く、短期間のうちに北上します。今年の春の渡りは、4月中旬に昨年より3日早く関西で初認され、北海道南西部にも4月下旬に、昨年より6日早く到達しました。しかし北海道北東部では5月初旬と、昨年と同時期となりました。



アオアシシギ

関東周辺でも例年越冬しています。今年の春の渡りは、3月末には東北南部、関西で初認され、5月の中旬に北海道東北部に到達しています。



全般に、昨年より早い傾向があり、一昨年とよく似た渡来状況でしたが、4月終盤に渡来する種では、北海道東北部への到達に時間がかかっており、気象との関係について詳細に分析する必要があります。また、モニタリングサイト1000の結果より、越冬個体が少ないシーズンであったと報告されているので、初認情報が春期の観察個体数の影響を受けていないか検証する必要があると考えています。